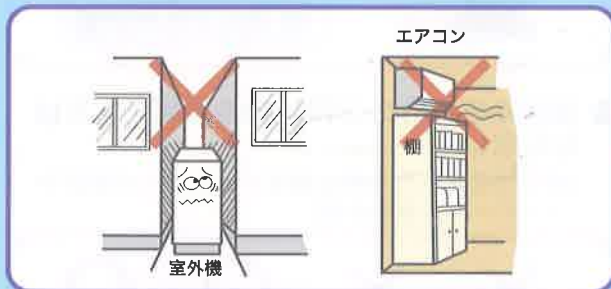


機器の所有者は 責任が増加します

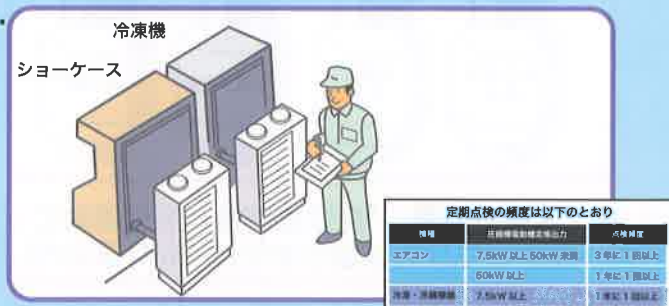
- 管理担当者を決める
- 管理する機器を調査しリストを作る
- 機器ごとに点検・整備記録簿を作成



- 適切な設置と適正な使用環境の維持



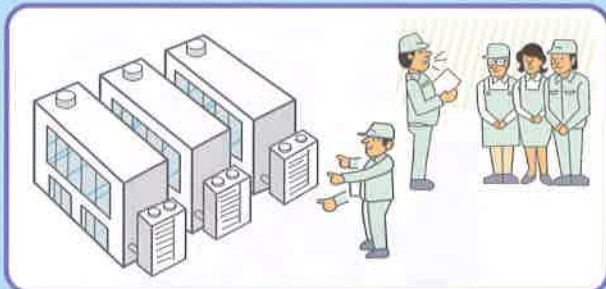
- 専門業者による定期点検を実施



- 点検・整備記録簿に記録・保存



- 簡易点検する担当者を決める
- 日常的に簡易点検 (3ヶ月に1回以上)



- 漏えいの疑いがあるときは速やかに専門業者に点検・修理を依頼する



- 機器を廃棄する際はフロンを回収しなければなりません



- 算定漏えい量の報告



罰則 (管理者関係)

- | | |
|-----------------------|---|
| 1) 1年以下の懲役又は50万円以下の罰金 | ①フロンのみだり放出 |
| 2) 50万円以下の罰金 | ①管理者の判断基準違反 ②行程管理票交付違反 |
| 3) 20万円以下の罰金 | ①「管理の適正化の実施状況報告」の未報告、虚偽報告 ②立入検査の取次の拒否、妨げ、忌避 |
| 4) 10万円以下の過料 | ①算定漏えい量の未報告、虚偽報告 |